

協議事項１ 令和２年度木更津市国民健康保険事業報告 補足説明

○金額が大きいものなど、主なものについて昨年度比等を補足説明いたします。

令和２年度の国民健康保険加入者の年間平均世帯数 18,660 世帯、
年間平均被保険者数 28,178 人。

令和３年３月３１日時点の外国人被保険者は 619 世帯 750 人。

令和元年度と比較して、

世帯数では 383 世帯 2.01%、被保険者数では 919 人 3.16%減少。

昭和 20 年度生まれが 75 歳に到達し後期高齢者医療保険制度へ移行しました。今後も団塊の世代が令和 5 年度から続々と移行しますので、人数の減少が見込まれます。

現役世代についても厚生年金の適用拡大により減少しましたが、新型コロナウイルス等による景気への影響もあるのか、50 歳から 54 歳の層で加入者が増加しています。20 歳から 64 歳の加入者数は令和 2 年 3 月末 12,371 人、令和 3 年 3 月末 12,032 人、と微減傾向です。

また、退職者医療制度については、平成 20 年 4 月の法律改正により原則廃止となりましたが、経過措置として、平成 26 年度までに制度に該当した方は退職者医療に加入ということとなりました。

したがって、平成 27 年 4 月 1 日以降は基本的には新たに退職医療制度に加入される方はおらず平成 27 年 3 月 31 日までに加入された方もほぼすべての方が令和 2 年 3 月 31 日までに 65 歳になりましたので、この制度から抜けて一般の国民健康保険となります。

(木更津市では令和 3 年 7 月 1 日現在 1 世帯 1 名のみ)

(資料 P1)

5 款 総務費 保険証更新事業では、

8 月 1 日を更新日として、約 18,900 世帯に対し、保険証を簡易書留で送付。

保険証印刷は指名競争入札（５者）を実施し、落札率 73.33%。

保険証封入封緘は随意契約（３者）を実施。

(資料 P2)

保険税賦課事務費では、

納税通知書印刷は指名競争入札（５者）を実施し、落札率 85.36%。

納税通知書封入封緘は随意契約（３者）を実施。

10 款 保険給付費 一般被保険者療養給付費は

支出額	72 億 8,440 万 4 千円（昨年比－2 億 419 万 4 千円、－2.73%）
件数	27 万 6,143 件（昨年比－35,199 件、－11.31%）
1 件当たり支出額	2 万 6,379 円（昨年比＋2,326 円、＋9.67%）

（資料 P3）

一般被保険者高額療養費は

支出額	10 億 5,147 万 7 千円（昨年比＋1,441 万 6 千円、＋13.9%）
件数	2 万 2,151 件（昨年比＋400 件、＋1.84%）
1 件当たり支出額	4 万 7,469 円（昨年比－210 円、－0.44%）

出産育児一時金（1 件 420,000 円以内）は

支出額	2,895 万 9 千円（昨年比－43 万 8 千円、－1.49%）
件数	70 件（昨年比同数）

葬祭費（1 件 50,000 円）は

支出額	920 万円（昨年比－10 万円、－1.08%）
件数	184 件（昨年比－2 件、－1.08%）

14 款 国民健康保険事業費納付金

千葉県が保険給付費を推計し、保険料（税）収納必要総額を算出し、当該総額を市町村の医療水準、所得水準を考慮して納付金額が決定されたもの。

一般被保険者医療給付費分

支出額	22 億 8,780 万 4 千円（昨年比－1 億 7,686 万 2 千円、－7.18%）
-----	--

（資料 P4）

後期高齢者支援金分

一般被保険者後期高齢者支援金等分

支出額	8 億 5,283 万 5 千円（昨年比＋2,556 万 3 千円、＋3.09%）
-----	---

なお、この後期高齢者支援金等は、

75 歳以上の方々が加入している後期高齢者医療制度の運営財源となるもの。

令和3年度第2回木更津市国民健康保険事業の運営に関する協議会補足説明資料

介護納付金分

支出額 2億9,497万7千円（昨年比+7,289万4千円、+32.82%）

こちらは40歳以上65歳未満を対象としたもので、

介護保険事業の財源として千葉県が診療報酬支払基金に納付するもの。

25款 保健事業費 特定健康診査等事業費

支出額 8,569万円（昨年比-468万2千円、-5.18%）

特定健康診査は、40歳以上の方を対象とし、医療機関で直接受診する個別健診と集団健診の2種類があり、6月から10月の間で実施。受診者8,247人、昨年比331人減。

短期人間ドック助成事業

支出額 4,853万8千円（昨年比-1,266万6千円、-20.69%）

受検者1,255人、昨年比307人減。

医療給付、特定健康診査、短期人間ドックについては、新型コロナウイルス感染症の影響による「受診控え」の影響により減額になっていると考えられます。

協議事項1の補足説明は以上です。

協議事項２ 令和２年度木更津市国民健康保険特別会計決算見込 補足説明

○金額が大きいものなど、主なものについて補足説明いたします。

用語について

調定額とは、収入が見込まれる又は収入されるべき額。

不納欠損額とは、請求することの出来なくなった金額。

不納欠損の理由は、納期限から５年間経過したことにより時効を迎えたものや時効前でも生活保護や自己破産等により、これ以上徴収することが出来ないと認められたため、執行停止となったもの。

収入未済額とは、収入を見込んだ額の内、収入出来なかった金額。

（資料 P5）

主な歳入

５款 国民健康保険税 現年分と滞納繰越分を合わせ、

予算現額 27 億 7 千 927 万 4 千円、調定額 44 億 8 千 288 万 7 千円強

収入済額 28 億 9 千 473 万 7 千円強。

収納率 64.57%、令和元年度 59.68%より、4.89 ポイント上昇。

なお、現年度分では、90.24%で、昨年度の 87.94%より 2.3 ポイント上昇。

※還付未済（税額の減額変更があったが返還がまだのもの）額は控除していない収納率。

25 款 県支出金

予算現額 86 億 5 千 68 万 1 千円、収入額 85 億 6 千 508 万 6 千円余り。

これは、

市町村が支出する保険給付費分を県が交付する「普通交付金」と

医療費の適正化に向けた取組等に対する支援である保険者努力支援分や 地域的な特殊事情や保健事業等施策の推進の取組等に交付される「特別交付金」の合計になります。

37 款 寄付金

予算額 54 万 2 千円、収入額 54 万 2 千円。

この寄付金は、ふるさと納税の際、国保会計を指定して納付いただいたもの（14 件）。

40 款 繰入金

予算現額 8 億 6 千 17 万円、収入済額 8 億 5 千 520 万 1 千円余り。

この繰入金には、一般会計繰入金と基金繰入金がございます。

一般会計繰入金は、国保税を軽減する場合、市が一部負担する保険基盤安定負担金や、職員

の人件費、出産一時金に係る費用の一部を負担する法定内の繰入と、安定した国保運営を図るため、一般会計から赤字分を補てんする法定外の繰入がございますが、令和２年度は、法定外繰入れは、ありませんでした。

基金繰入金につきましては、令和元年度の剰余金を国民健康保険特別会計財政調整基金へ積立し、令和元年度補助金等の精算に伴う返還金に充てるため、繰入れいたしました。

50 款 諸収入

予算現額 9 千 426 万 7 千円、収入済額 1 億 1 千 824 万 4 千円余り。

主なものは、

一般被保険者延滞金 9 千 579 万円余り

一般被保険者第三者行為に伴う損害賠償金 1 千 147 万 5 千円余り（交通事故等）

一般被保険者保険給付返納金 591 万 1 千円余り。

歳入合計で予算現額 124 億 3 千 513 万 1 千円に対しまして、
124 億 8 千 371 万 6 千円余りの収入がございました。

歳出につきましては、6 ページ・7 ページにまとめた表を記載しております。

その主な内容につきましては、協議事項 1 事業報告で主要事業の概要として、記載したとおり。

（資料 P8）

実質収支に関する調書

歳入総額 124 億 8 千 371 万 6 千円に対し、

歳出総額 122 億 7 千 496 万 6 千円。

実質収支額 2 億 875 万円の黒字。

令和２年度の事業と決算の報告は以上です。